

第3期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第3回）の様態について

日 本 証 券 業 協 会

＜会合の概要＞

本協会は、2019年11月27日（水）、第3期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第3回）を開催した。今後、第3回から第6回（2019年11月～2020年3月）までの間、各研究委員が研究テーマについて中間発表を行うことを予定している。

第3回では、神田座長をはじめ合計20名の委員等が参加し、以下のとおり、中間発表が行われた。中間発表では、研究テーマの背景、研究テーマ候補からの変更点、数式モデルの全体像等の説明があり、ペア委員（※）の意見紹介及び当該意見に対する回答が報告された。

- 発表者：佐藤研究委員（慶応義塾大学 経済学部教授）
- 研究テーマ：「機関投資家と資産価格バブル」
- ディスカッション：大崎専門委員（野村総合研究所未来創発センター フェロー）

意見交換では、佐藤研究委員からの中間報告に対して、神田座長、ディスカッションである大崎専門委員をはじめとした各委員から、経済学者・法学者・証券会社の実務家等々、それぞれの識見を踏まえ、数式モデルや実証分析の今後の進め方等について、活発な意見交換が行われた。今後、佐藤研究委員は、本会合における意見交換を踏まえ、論文完成を目指す予定である。

（※：あらかじめ、それぞれの研究委員と会員・特別会員委員会社（2社）をペア組みし、研究委員の研究内容について、会員・特別会員委員会社の担当者から実務目線でアドバイスを行っている。）



以 上